

お知らせ

<電話 080-4702-1960>

- **配布のお知らせ**: 下記に残部がありますので、ご希望の場合は上記までご連絡下さい。
- 「**此花区かかりつけ医マップ**」(令和7年10月改訂): 会員医療機関情報が載っています。
- 「**此花区医師会通報第400号記念号**」: 令和7年10月で400号となりました。
- 此花区「**健康ぴちぴちランド通信**」(第1号～第8号): 本ランドの活動報告などを載せています。

- 「**第5回ACP研修会(多職種連携研修会)**」: 1月15日(木)午後2時から開催します(於・此花会館)。もしバナゲームの結果を踏まえて、意思決定支援、ACPIについて講演があります。<ハイブリッド方式>
- 「**第2回認知症等高齢者支援地域連携研修会**」: 2月12日(木)午後2時から開催します(於・此花会館)。認知症との関りが大きい成年後見制度、特に、移行型任意後見制度や公正証書遺言書、エンディングノートを中心に、老いじたく等について講演があります。<ハイブリッド方式>
- 「**此花区健康ぴちぴちランドα**」: 3月5日(木)午後2時30分から4時まで開催します(於・此花区民一休ホール第1会議室)。①街の相談室と②多職種連携の場を開設します。①では、看護師さんによる血圧・握力・酸素飽和度の測定を実施します。②は専門職の集いの場でもあります。
- ☆ 「**大阪府医師会会員動態状況2025**」: 9月30日現在、会員は17,167(うち此花区は137)名、全体の平均年齢は58.0(うち此花区は59.9)歳で、年々上がってきています。また、全体の医療機関数は7,230(診療所6,738・病院492)件となっています。
- ☆ 「**大阪市立弘済院の移転**」: 令和9年5月、住之江区に移転して大阪健康長寿医科学センターとして再オープンします。センター内には研究所、病院(認知症治療等)、老健の3施設が設置されます。
- ☆ 「**救急安心センターおおさか**」: 救急医療における緊急性の判断をしています。連絡先は#7119または06-6582-7119(年中無休・24時間対応)になります。昨年度は347,726件の受付(相談)がありましたが、うち救急車の必要ありは24,485件(7.0%)でした。
- ☆ 「**国際電話不取扱受付センター**」: 特殊詐欺の電話は、固定電話に海外からかかってくるので、国際電話番号の着信には要注意です。その電話を防止する無料サービスがあります。申込みは、0120-210-364(平日9:00~17:00はオペレーター対応、それ以外は自動音声案内)です。
- ♡ 「**バリアフリー展2026**」(慢性期医療展、看護未来展、在宅医療展併設) <於・インテックス大阪> 令和8年4月15日(水)~17日(金)の開催予定で、32回目となります。また、同時に、“そなえ”をテーマとした「防犯防災総合展2025」と「熱中症対策展」が初開催されます。

案内

- 国民生活センター消費者ホットライン: 0120-213-188か188(全国共通)
- 小児救急電話相談: #8000(19:00~翌8:00 365日対応)
- 大阪市高齢者虐待ホットライン: 06-6206-3725(平日17:30~翌9:00、土日祝・年末年始24時間)
- 児童虐待ホットライン: 0120-01-7285(24時間365日対応)
- 女性人権ホットライン: 0570-070-810(平日8:30~17:15)
- いのちの電話: 0120-783-556(16:00~21:00、毎月10日8:00~11日8:00)
- 依存症相談ダイヤル(薬物、アルコール、ギャンブル等): 06-6922-3475(平日9:00~17:30、年末年始除く)
- 大阪どうぶつ夜間急病センター: 06-4259-1212(21:00~翌5:00)

会内活動 ～色々な研修会・会議等に参加しました。～

- 「障害者差別解消法・人権・個人情報保護法研修会」:12月16日(火)(於・此花会館)
法令、事例、最新の情報等についての講演の後、死者情報に関する質疑応答がありました。その中で、特に、個人情報とプライバシーの違いが説明されました。参加は49名でした。<ハイブリッド方式>
- ◆「高齢者施設における感染症対応力向上研修」:11月6日(火)(於・此花区役所)
感染症から身を守る注意点等についての講演とグループワークがありました。
- ◆「地域ケア会議(見えてきた課題のまとめ)」:12月11日(木)開催(於・此花区南西部地域包括支援センター)
地域課題を共通認識するための事例検討、グループワークがありました。
- ◆「此花区訪問看護ステーション連絡会」:12月11日(木)開催(於・此花区南西部地域包括支援センター)
教育ステーションはじめ報告、ディスカッション、情報共有等がありました。
- ◆「認知症声掛け訓練」:12月13日(土)開催(於・恩貴島集会所・春日出商店街)
学習会、春日出商店街での訓練、関係機関からの情報提供等がありました。
- ◆UR・社協「もしものためのもしバナゲーム大会」:12月23日(火)(於・高見UR)
意思決定、意思決定支援、ACPIに関する説明の後、ACP啓発のための「もしバナゲーム」(区民中心)を開催しました(5テーブル)。参加は32名(マイスター等含む)でした。
- ◆「此花区こころの健康講座」:12月25日(木)(於・此花区役所)
「こころの病気」との向き合い方についての講演がありました。
- 「メンタルヘルスセミナー」:12月15日(月)開催(於・大阪府社会福祉会館)
「こころの片付け術」と題して、ストレス抱え込まないコミュニケーションの取り方の講演がありました。心の面で、「他人に優しく、自分に優しい」方は、その意欲が上がるとされました。
- 「ひとみらい研究会α」:12月16日(火)開催(於・此花会館)
認知症、成年後見、遺言書等の資料説明の他に、相談会のあり方について意見交換がありました。
- ☆「此花区在宅医療・介護連携相談支援室」☆:医療・介護の相談がありました。

トピックス

下記<>内は以前に掲載した号

- ☆ペルソナ・ノン・グラータ:ラテン語で、他国から派遣される特定の外交官を「好ましくない人物」と認定し、外交官としての受け入れの拒否、取り消しを行うこと(国外退去処分)です。<73号>
- ☆ノブレス・オブリージュ:高い社会的地位には、義務や責任が伴うことを意味するフランス語で、高位者たちは、慈愛に満ち、社会の模範となるよう振る舞うべき道德観のことです。<62号>
- ☆カタツムリ女子:依然として野心はあるがマイペースで歩み、成功のために健康や幸せを犠牲にしない生き方の女性です。ガラスの天井を打ち破った人がいる今、世の女子は何を思うのでしょうか。
- ☆逆張り経営:逆張りは、本来相場の流れに逆らって売買するという株式用語ですが、それを捉えて、世間や業界の常識を打ち破り、同業他社がとらない戦略を実行していくことを逆張り経営といいます。
- ☆人権週間:12月10日は国際連合が定めた「人権デー」で、日本では毎年、12月4日～10日迄を「人権週間」としています。いじめ、虐待、差別、インターネット上の人権侵害等の問題を解決するには、一人一人が、互いを尊重し合うことが大切です。高齢者への特殊詐欺も人権侵害になります。
- ☆大阪市地域福祉基本計画(令和6～8年度)における相談支援機関・地域・行政が一体となった総合的な相談支援体制(分野横断的連携体制):区役所(高齢福祉、介護、医療、障害、児童、教育、生活困窮担当)、区社会福祉協議会、在宅医療・介護連携支援コーディネーター、地域関係者等による総合的な支援調整の場として、「つながる場」が設けられています。そこには、関係機関の調整等を行う「つながる体制推進員」(社会福祉士等)が区毎にいます。